

# 特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟

## 平成 30 年度 第 7 回理事会

### 議 事 録

日 時：2019 年 7 月 21 日（日）13：00～15：30

場 所：日本財団ビル 2 階 第一・第二会議室

出席者：椎名茂、隅野礼雄、大日方邦子、渡辺孝次、二星謙一、安藤佳代子、  
荒井秀樹、東海林史朗、小林清美、新田佳浩、井上真司、桜本利幸  
(12 名)

委任出席：古市隆一、菅間賀巳、岩間秀子、山口聖子、中村勝彦、夏目堅司、狩野亮、  
徳田康、内海けい  
(9 名)

出席監事：宮田隆司、(1 名)

欠席監事：大内智 (1 名)

オブザーバー：中村実彦、保科実、鈴木久三郎、藤本泰輔

椎名会長より定足数の確認がなされ、21 名中 21 名出席（委任状出席を含め）であり、定足数を満たし本会は成立するとの発言がなされた。議事録署名人には、大日方理事、隅野理事が指名された承された。書記には、事務局石丸が指名された。

会長より挨拶があり、次第の確認がなされ、定款の則り議長は会長が行うことが確認され会議が開始された。

#### 椎名会長挨拶

新年度の助成金が大幅に削減された、これを踏まえて連盟の事業を進めていかなければならない。

理事候補者の紹介があった。鈴木さん、経理・財務関係。保科さん、IT 関係、用具開発に携わってほしい。藤本さん、スポンサー企業の代表として。中村さん、国際関係で力を貸していただきたい。

#### 【審議事項】

##### 1. 2019 年度各委員会事業計画・事業予算について

石丸：5 チームの助成金と団体拠出金、事業計画・事業予算の概略について説明

大日方：パラアルペンの事業計画について説明。

東海林：ID アルペンの事業計画について説明。

渡辺：パラノルディック、合宿期間の短縮等で予算の縮小を検討。

ID ノルディック、パラ競技復帰のためのトレーニングキャンプ 2 回の予定。

二星：スノーボード、1 月と 2 月は大会がない。3 月の国際大会に向け国内合宿を中心とした活動にする。

安藤：普及事業一覧に沿って計画・予算の説明。一覧の他、普及委員会会議費として 60 万円の予算を計上した。

隅野：広報委員会予算表に沿って説明。多くがパラサポ助成金から予算手当されている。

マーケティング委員会予算表に沿って説明。

大日方：強化本部予算表に沿って説明。普及委員会との共同になるものも含めている。

石丸：総務・AD・国際・用具開発・選手委員会の計画・予算の説明を行った。

収入（会費・協賛金・助成金等）の予想をベースに新年度の連盟予算案を作成することを報告した。

椎名：各委員会の新年度の事業計画・予算についての議決を求めた。

全員賛成で承認された。

## 2. 2019年度強化指定選手について

大日方：パラアルペンの選考基準の説明。C指定はワールドカップ1種目に緩和した。

強化指定選手について説明された。東海さん・田中さんをC指定選手として加えた。村岡さんからは指定を受けないと本人から話があった。7月29日に話を詰める。

IDアルペンの選考基準（人数ありき、大会順位が厳しい、C指定がない、次世代は助成金の対象外）については、強化本部内で再検討保留とする。

東海林：BとCのポイント差が大きい、またC指定該当者が多いので人数を減らすためにC指定は削除した。

渡辺：パラノルディック指定基準に沿って指定選手の説明があった。

IDノルディックはメダル該当者なしでA指定はなし。（最下位ではメダル獲得に該当しない）次世代育成として記載した選手は助成金対象外となるため、C指定の条件を満たしていれば変更する。

二星：スノーボード指定基準に沿って強化指定選手の説明があった。

大日方：配布資料に沿って育成選手の指定手続きについての趣旨説明がされた。ホームページに申請書を載せて広く選手発掘を計画している。

荒井：IDアルペンの三好さんが指定から外れているが残したほうがいいのでは。（今後、ii2の参加者増える見込み）

椎名：IDアルペンは保留、強化本部内検討し指定する。IDノルディックの次世代→C指定に変更、次世代育成選手の登録方法については各チーム検討して常任理事会で最終決定する。その他はリスト上の選手を強化指定選手とすることを議決を求めた。

全員賛成で承認された。

## 【報告事項】

### 1. 平成30年度会計実績と決算予測について

石丸：平成30年度仮予算1st DRAFTについて説明。予算額と現時点までの実績額の比較、予算執行の進捗について報告を行った。7月末の決算後、総会までに内容を分析して説明出来るようにします。

### 2. 2019年度の強化スタッフについて

各委員長より、5チームの強化スタッフについてスタッフ名簿に沿って報告があった。

### 3. 2019年度の会員募集と公益法人化について

石丸：2019年度の会員募集について今週初めからホームページ上で会員登録・競技者登録が出来るようになること、既存の会員にはメール（アドレスの報告がある会員）と書面（アドレスの報告がない会員）で案内をする。

公益財団法人化の今後のスケジュールについて報告した。総会では経過と今後の認定までの予定を説明出来るようにすると報告した。

#### 4. マーケティング活動の進捗について

隅野：ゴールドパートナーとして、コーセー・キトー2社確定。コープ共済とパロマが検討中。

ベネフィット・ワンは継続不可、ぐるなびは検討中。

ノルディックは今後、パラとIDを分ける方向で検討中。

#### 5. アンチドーピング委員会からの報告

石丸：岩間委員長のまとめた資料を説明した。

#### 6. 指定寄附について

大日方：選手の活動に対して、助成金や団体拠出金では十分賅えないので、不足分を補うために指定寄附を募る方法がある。寄附申込書を示して説明された。

#### 7. 中長期計画について

椎名：組織体制（公益財団になった場合の会員・評議員制度）、財務戦略（オフィス問題・助成金削減や協賛辞退に備えての適正な運転資金）、大会招致（2030札幌承知活動も前提にして）等を総会の場で発表出来るようにします。

#### 8. 事務局員の採用について

石丸：平見さんの採用について報告。（宮崎さんの後任としてノルディック担当）

### 【協議事項】

#### 1. 2020 コンチネンタルカップ札幌大会について

大日方：2021年にパラアルペンワールドカップを札幌で開催するには、2020年にコンチネンタルカップ札幌大会を実施しないと実績のないままワールドカップ開催も難しい。現在、札幌市スキー連盟の協力を得られない可能性が浮上している。協力を得られない場合は、八方が菅平を代替開催地としたい。

椎名：札幌との交渉結果については、改めてお知らせします。

#### 2. SAJとの共同事業について

大日方：SAJ皆川競技本部長よりオーストリアで会社設立して選手たちの活動を手助けをすることを目的とする。

椎名：今まで、特定の会社に出資したことはないので事業内容詳細を入手したうえで、必要であれば総会で議決を求める。

#### 3. 総会までの流れ

総会 10月27日（日）

理事会 10月27日（日）

常任理事会 9月4日・10月2日

総会までに平成30年度決算・各委員会の事業報告・2019年度予算作成を行う。

その他

中村実彦：広く競技を普及させるための活動を行ってほしい。助成金前提の大会運営をしていると、助成金を止められたら大会が出来なくなることになるので助成金に頼らない運営方法を考えないといけない。

桜本：公益財団になった場合の評議員の選び方や位置づけをどのように考えているのか。

椎名：スポンサーや地方の団体からの選出を考えているが、底辺が大きくない障がい者スポーツでどこまで人を選べるのか等、これから詰めて行きます。

宮田：常任理事会に出席していますが、活発な議論が行われています。健全な運営が出来ていると感じています。

以上、審議事項、報告事項、協議事項が全て審議、報告、協議され、議長より閉会の通告があり、理事会を終了した。

2019年7月21日

議事録署名人

会 長 椎名 茂

理 事 大日方 邦子

理 事 隅野 礼雄